

## 平成31年第1回岐阜市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成31年1月23日（水曜日） 午後2時00分から午後4時30分まで
- 2 場 所 岐阜大学 研究推進・社会連携機構 会議室（岐阜市柳戸1-1）
- 3 出席者 早川教育長、川島委員、足立委員、武藤委員、横山委員、伊藤委員
- 4 説明のために出席した事務局の職員  
石原事務局長、原事務局次長、杉山教育政策課長、  
内堀歴史遺産活用推進審議監兼社会教育課長、  
丹羽学校教育審議監兼学校指導課長、田中教育施設課長、辻岐阜東幼稚園長、  
中島学校保健課長、中島青少年教育課長、吉成図書館長、  
菅沼中央青少年会館長、上田岐阜商業高等学校事務長、近藤科学館長、  
大塚歴史博物館長、宇田市民体育課係長
- 5 職務のために出席した事務局の職員  
吉田教育政策課主幹、杉本教育政策課副主査、  
波賀野教育政策課主任、櫻井教育政策課主任
- 6 議事日程
  - 第1 開会
  - 第2 前回会議録の報告、修正及び承認
  - 第3 会議録署名者の指名
  - 第4 諸般の報告
    - (1) 平成30年度「岐阜市の教育」公表会について（学校指導課）
    - ※(2) 岐阜市総合教育会議について（教育政策課）
    - ※(3) 政策総点検における最終報告について（教育政策課）
  - 第5 議事
    - (1) 第1号議案 平成30年度末岐阜市学校教職員定期人事異動方針について（学校指導課）
    - ※(2) 第2号議案 平成31年度岐阜市一般会計予算に関する教育委員会の意見について（教育政策課）
  - 第6 その他
  - 第7 閉会
- 7 会議に付した事件  
「6 議事日程」のとおり。なお※の報告及び議案は、秘密会形式で審議した。

午後2時00分開会開議

**○早川教育長** 定刻となりました。本日の出席者数が定数に達し、会議が成立いたしますので、只今から、平成31年第1回教育委員会定例会を開会します。

本日の会議録の署名者には、本日の出席者を指名します。

それでは、議事日程をご覧ください。本日は、報告が3件、議事が2件となっております。議事日程に、秘密会で審議すべき案件が記載されていますが、このとおりに扱うことにご異議ありませんか。

(「異議なし」と声あり)

**○早川教育長** 秘密会については、このとおりに扱うものとします。それでは、日程第4諸般の報告にまいります。報告1について説明をお願いします。

**○丹羽学校教育審議監兼学校指導課長** (平成30年度「岐阜市の教育」公表会について説明)

**○早川教育長** 只今の説明について、ご質問や意見はございませんか。参加いただいた委員からは、感想や改善点などもお話しいただければと思います。

**○武藤委員** 今回、全体会のパネルディスカッションで登壇させていただくという貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

5年先行く岐阜市の教育というスローガンにふさわしく、これからの教育を見通す、先見的な内容であったと思います。公表会はそれらを意識的に発信する場であり、岐阜市の教育を各関係者に浸透させる効果は、非常に高いと思います。今後もこういった機会を大切にしていきたいと感じました。

あとは、公表会での成果をあの間だけのものではなく、いかに日頃の学校・家庭・地域それぞれの教育現場まで定着させていくかが課題だと思います。

**○伊藤委員** 私もパネリストとして登壇させていただき、ありがとうございました。私自身にとっても、とても良い勉強の機会となりました。

改めて、間近に迫っている教育変革の時代に向けて、保護者や地域の理解を促進し取組をどう改善していくか、教育委員会としてこれからも先導していく必要を感じました。

**○横山委員** 教育委員会は、子どもたちの教育を一手に司る組織であり、本来その成果を対外的に説明する責務が伴うものだと思います。この公表会は、教育長がリーダーシップを発揮し、岐阜市の教育の先駆的な姿勢や取組が十分に

伝わる会であったと思います。

全体会の中で、家庭教育の低調が訴えられていましたが、これから幼児教育に力を入れていこうとしている岐阜市だからこそ、今一度、家庭教育のリバイバルの機運を高めていっていただきたいです。

**○川島委員** 登壇された教育長、武藤委員、伊藤委員はお疲れさまでした。全体会のパネルディスカッションの内容はとても興味深く、引き込まれて聞いておりましたが、周りの先生方の様子や質疑応答のやり取りを振り返ると、壇上と会場に知識差が少しあったかもしれません。内容によっては、予備知識や補足を得られるような資料を準備することも良いのではないかと思います。

**○早川教育長** 私の役割として、皆さんの意見をまとめるのは大変難しかったです。頂いた意見はどれもこれからの岐阜市にとって有益な助言であったと思います。また運営に関するご意見も、来年度の公表会に活かしてまいりたいと思います。

**○横山委員** 投げかけられた課題を学校だけでなく、保護者や皆で考えていく機運が醸成されていくことを願っています。

例えば、コミュニティ・スクールは各学校と地域の主体的な取組ですが、教育委員会から共通テーマ、例えば今回のデジタルネイティブをテーマとして各コミュニティ・スクールへ投げかけることで、地域全体での理解が深まったり、地域の特性を生かした取組への発展が生まれていくと思います。

**○早川教育長** 他にご質問や意見はよろしいでしょうか。それでは次に、日程第5議事の第1号議案について説明をお願いします。

**○丹羽学校教育審議監兼学校指導課長**（平成30年度末岐阜市学校教職員定期人事異動方針について説明）

**○早川教育長** それでは第1号議案について、質疑及び討論を行います。

**○川島委員** 兼務については、小学校同士・中学校同士だけでなく、小学校・中学校に跨るものも含まれるのですか。

**○丹羽学校教育審議監兼学校指導課長** 含まれます。これまでも小学校・中学校の兼務はありましたが、明文化することでより積極的な運用を目指すものです。

○**武藤委員** 小学校・中学校の兼務は、同一校区内に限定されるのでしょうか。

○**丹羽学校教育審議監兼学校指導課長** 小中の接続や一貫教育の観点から、同一校区内が基本ですが、例えば校区を跨いで生徒指導に注力すべき学校がある場合には、同一校区外の学校との兼務を行います。

○**横山委員** 幼児教育の観点から、幼稚園と小学校の連携はあるのでしょうか。

○**丹羽学校教育審議監兼学校指導課長** 幼稚園と小学校の教育連携のために、幼稚園教育に理解のある教員を公立幼稚園の近接校に配置するなどしています。

○**足立委員** 市立に留まらず、県立の特別支援学校との人事交流はあるのでしょうか。

○**丹羽学校教育審議監兼学校指導課長** はい、県立の特別支援学校との人事交流も行っております。

○**足立委員** 今後も特別支援教育に対するニーズは増えていくと思います。より多くの教員が、特別支援教育を学び経験するための研修機会を、積極的に確保していただきたいと思います。

○**伊藤委員** 特別支援学校の現場からすると、研修という制度上やむを得ない面もありますが、特別支援教育の知見を得ていざこれから活躍していただけるはずの先生が、そのタイミングで他の学校へ異動してしまうこととなります。特別支援学校での勤務年数についても、柔軟に取り組んでいただければと思います。

また、特別支援学校に異動される先生は、ぜひ特別支援教育免許認定講習を受けた方が行かれると良いのではと思います。

○**早川教育長** 他にご質問や意見はよろしいでしょうか。それでは、採決を行います。第1号議案について原案のとおり決することに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」と声あり)

○**早川教育長** 第1号議案は、原案のとおり可決されました。それでは以降の報告及び議事は、秘密会で進行いたします。

(以後、秘密会)

○**早川教育長** ありがとうございました。それでは以上で、本日の議事は終了となります。最後に次回の会議の日程を確認いたします。次回は、2月20日水曜日の午後1時30分より、定例会を行います。会場は未定です。それでは以上をもちまして、本日の会議を閉会といたします。

午後4時30分 会議終了